

週間漁海況情報 2022年第36号

令和4年9月6日発行

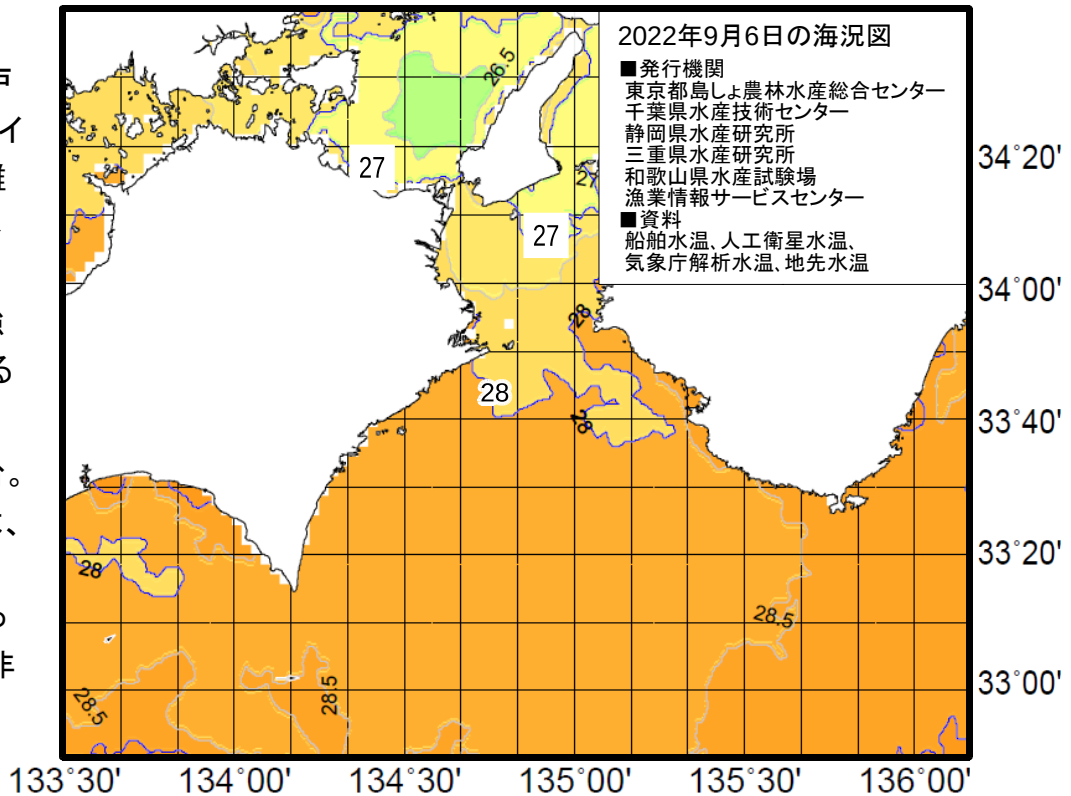
海況

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖96マイル、潮岬沖184マイルを流れ、いずれも「著しく離岸」。黒潮からの紀伊水道への暖水波は、見られない。引き続き、室戸岬では東から強い流れが近づく可能性があると予測されている。

黒潮の表面水温は29℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘と紀伊水道が27℃台、海部沿岸が28℃台となっている。海域間の水温差は非常に小さい。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～

潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

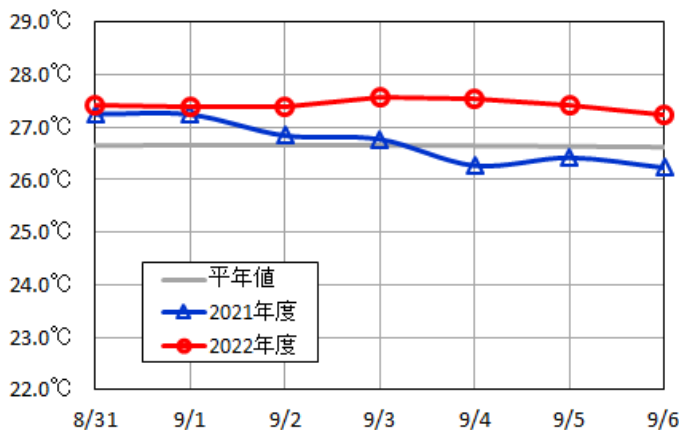
(いずれも正南方向)

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

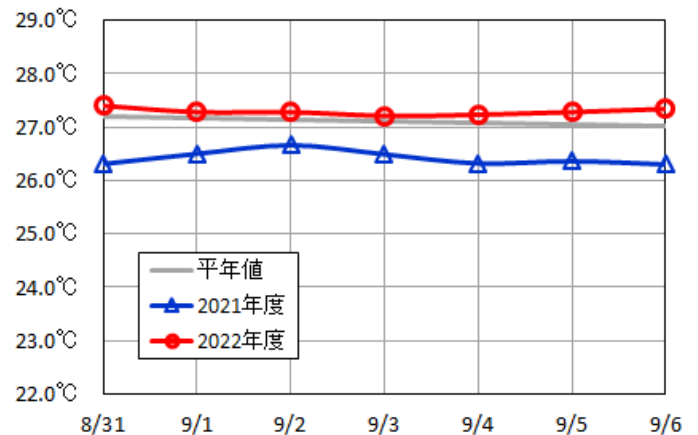
2. 地先水温(8月31日～9月6日)

鳴門地区の水温は27.2～27.5℃で「やや高め」、日和佐地区は27.2～27.4℃で「平年並み」に推移した。鳴門と日和佐地区の水温差は-0.3～0.0℃で、鳴門の水温が高い日が多かった。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報(9月7日～9月13日)

黒潮は、室戸岬、潮岬沖ではいずれも「著しく離岸」で経過する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「やや高め」、日和佐地区は「平年並み」で推移する見込み。

漁況 (8月29日～9月4日)

1. 紀伊水道 (標本漁協: 5)

船びき網では、シラスが7.2ト水揚げされた。

延縄では、ハモが中主体に4.8ト水揚げされた。

小型定置網では、ブリが大きく増えて0.8ト

、マアジが大きく増えて豆あじ主体に0.5ト、カンパチが0.5ト、メイチダイが増えて0.3ト、イサ

キが0.1ト、ヘダイが大きく増えて0.1ト、マサバが減って0.1ト、マダイが0.1ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが中主体に4.1ト、えそ類が大きく増えて1ト、タチウオが大きく増えて0.8

ト、イボダイが増えて0.2ト、いとより類が大きく増えて0.2ト、マダイが増えて大主体に0.2ト水

揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協: 4)

延縄では、キダイが大きく減って大主体に0.3ト、あまだい類が減って0.1ト水揚げされた。

小型定置網では、かます類が大きく減って0.4ト、マアジが減って豆あじ主体に0.2ト、マルソウ

ダが減って0.2ト、マサバが大きく減って小主体に0.1ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.1トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり(kg)	銘柄	前週比※	
紀伊水道	船びき網	48	シラス	7,200	150		→	
	延縄	58	ハモ	4,762	82	中主体	→	
	小型定置網		11	ブリ	769	70		↗↗
			17	マアジ	515	30	豆あじ主体	↗↗
			21	カンパチ	502	24		→
			16	メイチダイ	327	20		↗
			16	イサキ	137	9		→
			19	ヘダイ	132	7		↗↗
			6	マサバ	126	21		↘
			15	マダイ	106	7		→
	底びき網		29	ハモ	4,145	143	中主体	→
			30	えそ類	981	33		↗↗
			26	タチウオ	847	33		↗↗
			25	イボダイ	199	8		↗
		17	いとより類	161	9		↗↗	
		24	マダイ	160	7	大主体	↗	
海部沿岸	延縄	7	キダイ	257	37	大主体	↘↘	
	延縄	8	あまだい類	135	17		↘	
	小型定置網		5	かます類	381	76		↘↘
			6	マアジ	201	34	豆あじ主体	↘
			6	マルソウダ	184	31		↘
	1	マサバ	108	108	小主体	↘↘		

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘